

令和6年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立国際会議場		指定管理者：(株) 大阪国際会議場		指定期間：平成31年4月1日～令和11年3月31日		所管課：府民文化部 都市魅力創造局 企画・観光課	
※黄色網掛部分：R6年度目標							
I 評価項目	評価基準（内容） <取組内容とその効果等>	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
I 提案の 履行 状況 に関 する 項目	(1) 施設の設 置目的及び管 理運営方針	<input type="radio"/> 国際会議等の誘致・開催を通じて、大阪の地域活性化に貢献するという施設の目的に沿った運営がなされているか 通年度評価：R3年度【指定管理者：B 所管課：B】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】	・2024年度は、当社が大阪府の指定により2019年度から10年間の大阪府立国際会議場の指定管理者として運営をはじめてから、後半期最初の年度にあたる。 ・今期は、「すべてのお客様にご満足いただける空間を提供したい」という思いで、昨年度リニューアルした施設にお客様をお迎えし、今年度を初年度とする新中期経営計画に基づき、営業活動を展開している。 ・これまでの営業成績は、売上、営業利益とも当初計画を上回る伸びを見せている。これは、市場環境の変化とともにWEBマーケティングの展開や昨年度のリニューアル工事期間中の営業活動の成果によるものと考えており、今後もこの好調を維持し、計画以上の成果達成を目指していく。 <input type="checkbox"/>	A	指定管理期間後半初年度となった2024年度の営業成績は、売上・営業利益とも当初の計画を上回っている。昨年度、休館期間中の営業活動などの成果が出ているものと考えている。 来年度は大阪・関西万博が開幕し、万博に関連した会議の開催等を通して、引き続き、公の施設としての役割を果たしていくことを期待している。	A	・大阪・関西万博開催に関連する各国間のシンポジウムは直前に決定するものもある。来年度も引き続き、成約件数・開催件数の増加に向けて取り組みを進めていかれたい。
	(2) 平等な利 用を図るため の具体的手 法・効果	<input type="radio"/> 公の施設であることを踏まえ、公平・平等な利用がなされているか 通年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】	・利用申込から利用承認さらに終了後のアンケートの照会・回答までオンライン化したWEB申込手続きについては、9割以上のお客様にご利用いただいている。 ・バリアフリートイレをよりご利用しやすくするため、お客様向けの分については全て扉を自動扉にした。 ・最近では大阪市内のホテルの宿泊費や会場費が上昇しており、催事主催者から宿泊場所・外部の会議室の紹介を依頼される事例が増えていることから、ホテルNCB（宿泊）及UNCB会館（懇親会・講演会場）への送客について契約を締結した。	A	Web申込手続きを導入して、9割以上のお客様にご利用いただいているとのこと。 バリアフリー化の推進にも取り組んでおり、継続して、すべての利用者の利便性を高める取組みをしていると認められる。	A	
	(3) 国際会議 の誘致・開催 等の取組内 容、手法及び 表現可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 国際会議の誘致方針 <input type="radio"/> 同種施設の動向や今後のコンベンション等の需要を見据えた戦略的な取組が適切に実施されているか 通年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】	・2025年大阪・関西万博を起爆剤にアジア有数の都市型MICE施設を目指すべく、以下の3つの施策を展開した。 (1) 万博を契機にした国際会議の誘致・開催 「2025大阪・関西万博に向けた未来社会デザインシンポジウム2024」を公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン等と共催 「開幕250日前 EXPOミライ学園祭」の開催 「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会委員総会」の開催 (2) MICE都市大阪をリード 「北太平洋漁業委員会 (NPFC) 第8回年次会合」の開催 「Global Child Nutrition Forum (世界こども栄養フォーラム)」の開催 「art stage OSAKA」の開催 「Japan Health」のプレセミナーの開催 一般財団法人大阪国際経済復興センター（インテックス大阪）との連携、リーガロイヤルホテル（IHG加盟）、パシフィコ横浜等とのネットワークの形成など。 (3) 中之島エリアの魅力の最大化によるリピート顧客の創出 「中之島パビリオンフェスティバル」シンポジウムの開催など。	A	同種施設等とネットワークを形成し、定期的な情報交換や提携をするなどの取組を実施している。 中之島エリアにおいては、今年度「中之島パビリオンフェスティバル」のシンポジウムを開催し、万博開催期間中の需要を見据えた取組を行っていること認められる。	A	

○ 大阪の都市魅力を活かした取組が適切に実施されているか

過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】
R4年度【指定管理者：A 所管課：A】
R5年度【指定管理者：A 所管課：A】

■国際会議誘致の取組内容

○ 国際会議の誘致の開催目標件数（JNTO基準）は達成されたか【※】

	年度	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R10
		2019	20	21	22	23	24	28
指定管理提案時目標 (R6年度以降は 中期経営計画 (改定後) 目標)	開催	60	62	62	65	70	60	70
	成約	55	55	53	50	50	55	55
年度目標	開催	60	—	—	—	33	60	—
	成約	55	20	27	37	43	28	—
実績	開催	57	0	0	24	47	41	—
	(参考)ICCA基準	8	0	0	5	5	10	—
	成約	55	39	45	38	105	22	—

(成約：当該年度以降、R10年度までに開催されることとなる国際会議の成約件数であり、当該年度の開催件数とは一致しない)

・主要三施設（10階会議室、イベントホール、メインホール）

	稼働率 2019	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R10
		2019	20	21	22	23	24	28
指定管理提案時目標 (R6年度以降は 中期経営計画 (改定後) 目標)	主要三施設日数	86.2	86.4	86.7	86.9	87.3	83.1	87.5
	全館利用単位	41.2	41.3	41.4	41.5	41.7	40.9	41.8
年度目標	主要三施設日数	86.2	18.8	36.9	53.2	68.2	83.1	—
	全館利用単位	41.2	11.7	20.8	32.9	37.2	40.9	—
実績	主要三施設日数	76.2	33.7	81.0(※)	67.8	68.4	77.0	—
	全館利用単位	47.4	19.1	71.3(※)	37.0	40.0	41.8	—

(主要三施設日数稼働率の分子：使用した日数、分母：主要三施設すべてを使用した場合の日数)
(全館利用単位稼働率の分子：午前使用数+午後使用数+夜間使用数、分母：全施設利用した場合の使用数)
※R3は大規模接種センター設置期間を含めた数値。
(接種センター設置期間を除いた稼働率 主要三施設：53.0% 全館：32.8%)
※R6は休館期間4か月を含めない数値。

・主要三施設料金稼働率（10階会議室、イベントホール、メインホール）

	稼働率 2019	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R10
		2019	20	21	22	23	24	28
年度目標	主要三施設料金	—	18.2	28.9	50.2	64.4	78.4	—
実績	主要三施設料金	71.9	26.5	100.3	59.5	62.0	70.0	—

(分子：主要三施設の施設利用料、分母：主要三施設の全施設を9時～21時で利用した場合の施設利用料)

過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】
R4年度【指定管理者：A 所管課：A】
R5年度【指定管理者：S 所管課：S】

・中之島の地元企業等が、万博の機会に大阪を訪れる皆様をターゲットに、万博期間中に中之島エリアでイベントや芸術展等を展開する「中之島パビリオンフェスティバル」開催に向けて、第1回シンポジウム（7月に当会議場で開催）、基本計画の公表に続き、11月に大阪中之島美術館において、第2回のシンポジウムが開催された。

また、4月には「2025大阪・関西万博に向けた未来社会デザインシンポジウム2024」を公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン等と共催し、「大阪ヘルスケアパビリオン」をPRした（再掲）。□

・2024年度第3四半期 国際会議開催・成約件数
開催 41 件 (内、ICCA基準該当 10件)
成約 22 件 (" 6件)

・2024年度 国際会議開催・成約件数 見込み（2月末時点）
開催 54件
成約 40件

・2024年度第3四半期 稼働率
主要三施設日数 77.0% (前年同期 68.4%)
全館利用単位 41.8% (" 40.0%)
主要三施設料金 70.0% (" 62.0%)

・2024年度 稼働率 見込み（2月末時点）
主要三施設日数 77.0%
全館利用単位 42.9%
主要三施設料金 66.6%

※主要三施設料金稼働率について
2024年4月から新料金に改定したが、2023年3月までの申込み分は旧料金が適用されている。稼働率の分母は新料金で計算しているが、分子には旧料金が含まれている。

A

今年度は、中之島エリアの魅力を高める取組みとして「中之島パビリオン・フェスティバル」開催に向けたシンポジウムを開催。来年度の開催を通して、大阪の都市魅力向上に寄与することを期待する。

A

第3四半期時点において、国際会議開催・成約件数は目標件数に近づきつつある。残りわずかであるが、成約件数増に向けて取り組みを進めていただきたい。

施設稼働率については、前年同期を上回っており、コロナ前の水準に戻りつつある。

A

・年度目標設定の考え方（精度）について、指定管理者・所管課で協議をお願いしたい。

・第3回評価委員会においては、年度末見込みの数字を記載し、可視化されたい。

	<p>○ 大阪の都市格向上に繋がる国際会議を誘致する戦略的な取組が適切に実施されているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的情報ネットワークの形成状況 <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：S 所管課：S】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・万博を契機に国際会議の誘致を促進するため、4月には「2025大阪・関西万博に向けた未来社会デザインシンポジウム2024」を公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン等と共催し、「大阪ヘルスケアパビリオン」をPRした。（再掲） ・大阪府・市と連携し、政府系国際会議である「北太平洋漁業委員会（NPFC）第8回年次会合」を誘致、4月に開催され、日本をはじめ9ヶ国・地域が参加した。12月には学校給食等子供の栄養に関する国際会議である「Global Child Nutrition Forum（世界こども栄養フォーラム）」が開催された。 ・このほか、リーガロイヤルホテル（IHG加盟）、パシフィコ横浜、インテックス大阪、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンなどと国際会議誘致のためのネットワークを形成している。 インテックス大阪を運営する一般財団法人大阪国際経済振興センターとは10月に包括連携協定を締結した。また同月、インテックス大阪において、大阪観光局と大阪経済振興センター及び当社でJAPAN MICE EXPOを共催した。 また、パシフィコ横浜と共同して、11月に韓国仁川広域市で開催されたKOREA MICE EXPOに出展した。 ・万博の開催が迫る中、出展国の関係者等の視察が増加しており、これまで米国、インド、オーストラリア、タイ、チリ及びベルギーのVIPを受け入れたほか、IAPCO（国際PCO協会）のFAMトリップ（カナダ、英国等4ヶ国）を受け入れた。さらに、在関西領事館に個別に訪問活動を行うなど、海外との人的ネットワークの形成に努めた。 	A	<p>今年度は関係機関との連携を強化し、海外のイベントに共同出展するなどの取組みを進められた。</p> <p>万博開催前年度においては、出展国の関係者等の視察も増加しているとのこと。海外のMICE関係者とのネットワーク形成に努めており、今後の国際会議誘致に活かしていただきたい。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・他の組織との連携や意見交換を通して、新たな取組みを積極的に進められている。
	<p>○ 施設及び周辺エリアの特性を活かした取組が適切に実施されたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中之島MICEアライアンス」の取組み ・「中之島エリアMICE」の形成 ・中之島の活性化への貢献 <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：B】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中之島の地元企業等が、万博の機会に大阪を訪れる皆様をターゲットに、万博期間中に中之島エリアでイベントや芸術展等を展開する「中之島パビリオンフェスティバル」開催に向けて、第1回シンポジウム（7月、当会議場開催）、基本計画の公表に続き、11月に第2回のシンポジウムが大阪中之島美術館において開催された。（再掲） なお、大阪観光局や当社等中之島所在のMICE施設で構成する「中之島エリアMICE」に、10月から「未来医療国際拠点 Nakanoshima Qross」にある「コングレックスエア大阪中之島」が加わった。 <p><参考 エリアMICE> 大阪府内の9つのエリアで、事業者連携・協力により、エリアの魅力発信、誘致力の向上等を目指す取組み</p>	A	<p>関係各所と協議し、引き続き取り組みを進めていかねたい。</p>	A	

	<p>○ 誘致の実現に効果的な支援等が適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：S】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ MICE関係団体や主催者との連携が適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：B】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 大阪のMICE拠点として、政府系国際会議や国際機関や国際団体の会議を誘致する取組みが適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：B 所管課：B】 R4年度【指定管理者：S 所管課：A】 R5年度【指定管理者：S 所管課：A】</p>	<p>・国際会議誘致支援制度により、誘致に努めた。</p> <p>「IEEE Pacific Rim International Symposium on Dependable Computing (IEEE環太平洋高信頼性コンピュータシンポジウム)」(2024年11月開催) □</p> <p>「The 23rd International Symposium on Eco-Materials Processing and Design (第23回エコマテリアル加工とデザイン国際シンポジウム)」(2025年1月開催) 等</p> <p>・大阪のMICE機能強化のためには関係機関との連携強化が不可欠であり、5月には、リーガロイヤルホテル (IHG加盟) とMICEの共同誘致等について、6月には、パシフィコ横浜と国際展示会への共同出展や人材養成のための交流等について、それぞれ協議した。</p> <p>・インテックス大阪を運営する一般財団法人大阪国際経済振興センターとは10月に包括連携協定を締結した。また同月、インテックス大阪にてJAPAN MICE EXPOを大阪観光局と大阪経済振興センター及び当社で共催した。(再掲)</p> <p>また、パシフィコ横浜と共同して、11月に韓国仁川広域市で開催されたKOREA MICE EXPO1に出展した。(再掲)</p> <p>さらに、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンと連携し、日本で初めてのテーマパークとMICE施設が連携した共同誘致に取り組んでいる。</p> <p>・国際会議では、5月開催の「北太平洋漁業委員会 (NPFC) 第8回年次会合」に続いて、12月に学校給食等子供の栄養に関する国際会議である「Global Child Nutrition Forum (世界こども栄養フォーラム)」が開催された。(再掲)</p> <p>国際会議に該当する学術会議として、医学系では「第45回動物臨床医学会年次大会」、「カテーテルアブレーション関連秋大会2024」、「第78回国立病院総合医学会」、「世界がん撲滅サミット2024 in OSAKA」、「第63回日本網膜硝子体学会総会」等が開催された。自然科学系では、「IEEE Pacific Rim International Symposium on Dependable Computing (IEEE環太平洋高信頼性コンピュータシンポジウム)」、「第62回燃焼シンポジウム」等が、社会科学系では「第15回 東アジア倒産再建シンポジウム」、「International Conference of Asian Marketing Associations (ICAMA) (アジアマーケティング協会国際会議)」が開催された。</p> <p>このほか、国際会議として、品質保証に関する「Asia Network Forum ~2024 General Assembly Meeting」、「2024-2025年度 国際ロータリー第2660地区 地区大会」等が開催された。</p>	<p>A</p> <p>各開催支援制度やネットワークを活用して、会議誘致に繋げることができたと認められる。</p> <p>A</p> <p>関係施設との協議やイベントの共催を通して、連携が進められている。</p> <p>A</p> <p>政府系国際会議としては、「北太平洋漁業委員会 (NPFC) 第8回年次会合」が開催された。今後も各種会議の誘致に努めていただきたい。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
--	---	---	---	----------------------------

(4) サービス向上を図るための取り組み内容、手法及び実現可能性

○ 利用者（主催者・来場者）サービスの向上、満足度を高めるための取り組みが適切に実施されたか

過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】
R4年度【指定管理者：A 所管課：A】
R5年度【指定管理者：A 所管課：A】

・快適で魅力あふれるOICC実現のため、利用者満足度向上に向けて引き続き利用者からのヒアリングやアンケート、来場者からのご意見や要望等を踏まえた対応を行うとともに、利用者サービス向上等を検討する「s-OICC委員会」、「e-OICC委員会」を開催するなど全社一丸となってお客様満足度の向上を図った。

昨年度、大阪府により実施された大規模修繕工事や同時並行で当社が行った工事により、メインホールは、音響・照明設備や吊物舞台機構、カーペット、座席座面等が一新された。また、10階会議室に新しく可動壁を設け、多様な会議空間の提供を可能とするともに、12階「特別会議場」と「レストラン グラントック」の質感をグレードアップし、また、各階の音響施設や映像関係施設も最新の設備が導入された。

（リニューアルした施設をホームページ、報道資料提供（専門誌に記事掲載）等でお客様にアピールし、催事誘致に努めている。

施設・設備の機能強化については、外部の専門家を加えた機能強化委員会の提言を踏まえ、幅広く検討を進めている。

個別の設備投資としては、会議環境の向上のため、空気調和機に殺菌灯の設置を進め、浮遊菌の大幅に減少を実現するとともに、風量ロスの解消により、電気代節減につながった。また、バリアフリースイッチをよりご利用しやすくするため、扉を自動扉にした。（再掲）

お客様サービスの向上のため、試行を経て8月から、アバターによる受付を導入し、受付対応時間を2時間延長した。（午前9時～午後4時 → 午前9時から午後6時）

最近では大阪市内のホテルの宿泊費や会場費が上昇しており、催事主催者から宿泊場所・外部の会議室の紹介を依頼される事例が増えていることから、ホテルNCB及びNCB会館への送客について契約を締結した。（再掲）

A

利用者満足度を高めるための施設・設備の機能強化については、昨年度より外部の専門家を交えた機能強化委員会の提言を踏まえて、幅広く検討されている。

今年度は4月にホームページを刷新し、利用者・主催者向けで階層を分けるなど、施設のPRIについても積極的に行われた。

引き続き、サービス向上に関する取組成果については、積極的に利用者や各営業先へPRし、継続して魅力向上に努めていきたい。

A

・外部の専門家を加えた機能強化委員会を開催したことによる効果について評価票に反映いただきたい。

○ 飲食、物販、ケータリングなどのサービス事業の取り組みが適切に実施されたか

過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】
R4年度【指定管理者：A 所管課：A】
R5年度【指定管理者：A 所管課：A】

・フードサービスは、催事参加者の増加を受け、大きく伸長した。昨年度と比較すると、売上は、ケータリングが前年比の3倍、レストランも約2倍の伸びとなっている。

【フードサービス各事業者売上】 (単位：千円)

売上高	2024年 4-11月(A)	2023年 4-11月(B)	A/B
ケータリング	194,362	59,795	3.25
レストラン(12階)	56,688	28,657	1.98
カフェ(2階)	47,836	41,613	1.15
お弁当	125,690	110,768	1.13

※2023年度は12月から休館したため、11月までで比較。

A

委託事業者と協力し、利用者の満足度向上にも繋がるよう、継続して取り組んでいたきたい。

A

・ケータリングやレストランの取支について昨年度と比較し、大きな伸びを見せている。引き続き、取り組んでいきたい。

	<p>○ 施設をPRする取組みが適切に実現されたか</p> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：B】</p> <p>○ 利用者（主催者・来場者）にとって魅力的な自主事業が適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>・年度当初から当会議場のホームページを主催者向けの情報提供に刷新するとともに、専門家の助言を得て、WEBマーケティングに取り組んだ。また、7月には、広報戦略を策定した。</p> <p>この結果、毎月、平均140件以上のメール、電話による問い合わせがあり、また、受注件数中の新規件数の割合も19%と、2割に迫っている。</p> <p>【広報戦略のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> i 「B to B」に特化した情報発信 ii 大阪観光局を始めとする関係機関のリソースを活用した広報活動 iii 効果的かつ効率的なデジタル広報（紙媒体からweb媒体へ、メールマガジン配信の検討） <p>・SNSでの情報発信に関し、多くのフォロワーを確保した。 (X…808人 ※休止中、Instagram…355人、Facebookを10月に開設)</p> <p>・中之島における地域共生のための活動として、5月に中之島バンクスとともに「中之島リバーフェスタ」を、8月に京阪ホールディングス社とともに「京阪沿線魅力再発見2024 ぶらり街道めぐり」を開催した。</p> <p>また、京阪ホールディングスなどが中心となって中之島界隈の施設で若手クリエイターや児童の作品を展示する「キッズテラ中之島2024」（5月～6月）にエントランス等を会場として提供した。</p> <p>8月には当社も実行委員会のメンバーである「中之島なつまつり2024」が当会議場プラザで開催され、約7,000人の皆様にお越しいただいた。</p> <p>10月には、大阪の魅力ある建築を一斉に公開する「イケフェス大阪（生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪）」に協力した。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>今年度はHP刷新をはじめ、専門家の助言を得ながらWEBマーケティング強化に取り組まれた。</p> <p>結果、新規件数の割合も増えているとのことで、取組成果が出ていると認められる。</p> <p>引き続き、近隣と協力し、新たな自主事業等の検討・実施に取り組んでいかれたい。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	
<p>(5) 機能向上のための取組内容</p>	<p>○ 機能向上のための取組みが適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：S 所管課：S】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>別紙「機能強化費執行状況」のとおり。</p> <p>・2024年度 機能強化費執行状況 見込み（2月末時点） 51,527千円</p>	<p>A</p>	<p>昨年度より設置した、外部の専門家が参画する機能強化委員会を継続して開催するなど、会議場の機能強化につながる取組みがされている。</p>	<p>A</p>	<p>・第3回評価委員会においては、年度末の執行見込について、記載をお願いしたい。</p> <p>・外部の専門家を加えた機能強化委員会における効果を評価票に反映いただきたい。</p>
<p>(6) 施設・設備・備品等の維持管理の内容、適格性及び実現可能性</p>	<p>○ 維持管理の役割分担に基づき、適切に実施されたか</p> <p>○ 施設、設備、備品等の安全管理・安全対策が適切に実施されたか</p> <p>○ 施設、設備、備品等の改修、修繕、更新が適切に実施されたか</p> <p>○ 効率的、計画的に適切に実施されたか</p> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>別紙「修繕費執行状況」のとおり。</p> <p>・2024年度 修繕費執行状況 見込み（2月末時点） 56,744千円</p>	<p>A</p>	<p>必要な維持修繕については、継続して取り組んでいかれたい。</p>	<p>A</p>	<p>・第3回評価委員会においては、年度末の執行見込について、記載をお願いしたい。</p>

<p>(7) 府施策との整合</p> <p>■以下の取組みが適切に実施されたかの整合</p> <p>○ 府や公益事業への協力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025大阪・関西万博を見据えた会議の誘致や自主事業の企画等 <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：S】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 行政の福祉化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職困難者の雇用・就労支援 ・障がい者実雇用率 ・知的障がい者の清掃現場就業状況 <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 府民・NPOとの協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体等との協働事業 ・中之島の地域活性化に向けた自主事業の企画 <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 環境問題への取組み</p> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>・2025年大阪・関西万博の機運醸成のため、4月に「2025大阪・関西万博に向けた未来社会デザインシンポジウム2024」を公益社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン等と共催し、「大阪ヘルスケアパビリオン」をPRした。(再掲)</p> <p>8月には大阪府・市万博推進局による「開幕250日前 EXPOミライ学園祭」が当会議場で開催され、9月には「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会委員総会」が開催された。(再掲)</p> <p>また、9月には、万博開催の2025年を期して開催される日本初の大規模な医療機器・ヘルスケアの国際展示会「Japan Health」のプレセミナーが、開催された。この「Japan Health」は2026年以降も毎年開催される予定であり、当社も協力する予定である。</p> <p>このほか、1階のエレベータードアに万博のラッピングを行うほか、1階エントランスに関西広域連合に協力して万博ブースを展示するなど万博の機運醸成に努めている。</p> <p>・就職困難者の雇用については、2021年5月から母子家庭等就業・自立支援センターの紹介を経て1名採用している。知的障がい者の雇用については、清掃業務の再委託先と契約を締結し、勤務時間、人数等に合った訓練場所、機会の提供に努めた。また、植栽の水やりや手入れの委託先についても同様の内容で契約している。□</p> <p>・5月に中之島バンクとともに「中之島リバーフェスタ」を共催した。</p> <p>また、京阪ホールディングスなどが中心となって中之島界隈の施設で若手クリエイターや児童の作品を展示する「キテミテ中之島2024」(5月～6月)にエントランス等を、中之島社会福祉協議会が主催する夏休みラジオ体操にプラザを会場として提供した。</p> <p>8月には京阪ホールディングス社とともに「京阪沿線魅力再発見2024 ぶらり街めぐり」を開催した。その他、当社も実行委員会のメンバーである「中之島なつまつり2024」が当会議場プラザで開催され、約7,000人の皆様にお越しいただいた。</p> <p>10月には、大阪の魅力ある建築を一斉に公開する「イゲフェス大阪(生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪)」に協力した。(以上、再掲)</p> <p>12月にはプラザで「中之島餅つき大会」が開催された。</p> <p>・光熱水費の削減を図るため、夏季の室温管理については、催事の内容、お客様の年齢層等に留意してきめ細かな温度管理に努めた。</p> <p>SDGs推進については、サステナビリティに関心の強い国際会議等の主催者から選ばれた施設を目指し、新たな指針の検討を進めている。</p> <p>飲料用自販機について、CO2排出量を実質ゼロにするカーボンオフセット自販機にすべて移行させた。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>大阪・関西万博の機運醸成に繋がる会議を複数開催し、館内において、機運醸成に繋がる取組みも実施された。</p> <p>昨年度に引き続き、就職困難者の雇用が行われている。引き続き、継続的な雇用の確保に努められたい。</p> <p>地域団体との協働事業や中之島の地域活性化に向けた自主事業に適切に取り組んでいる。</p> <p>SDGs推進については新たな指針の検討を開始し、万博開催年度に合わせて指針をまとめられるとのこと。策定に向けて、継続して取り組んでいかれたい。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	
--	---	-------------------------------------	---	-------------------------------------	--

II

評価項目	評価基準（内容） ＜取組内容とその効果等＞	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価	評価委員会の指摘・提言																																																																
<p>II</p> <p>さらなるサービスの向上に関する項目</p>	<p>(1) 利用者満足度調査等</p> <p>○ 利用者満足度に係るアンケート調査等が適切に実施されたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 催事主催者等会議場利用者の再利用の意向の割合 (単位：%) <table border="1" data-bbox="336 343 824 507"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019</td> <td></td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> <td>2023</td> <td>2024</td> <td>2028</td> </tr> <tr> <td>指定管理受審時目標 (06年度以降は 中期経営計画 (改定後)目標)</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> <td>98.0</td> </tr> <tr> <td>年度目標</td> <td>98.0</td> <td>98.7</td> <td>98.9</td> <td>98.9</td> <td>98.9</td> <td>98.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>98.7</td> <td>98.3</td> <td>95.8</td> <td>96.2</td> <td>98.0</td> <td>100.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="336 534 824 619"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019</td> <td></td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> <td>2023</td> <td>2024</td> <td>2028</td> </tr> <tr> <td>回収率実績</td> <td>71.0</td> <td>77.2</td> <td>71.5</td> <td>26.6</td> <td>19.9</td> <td>16.8</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>再利用・・・再利用の意向について、全体の内「たいへん思う」「思う」の回答の割合</p> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：B 所管課：A】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	年度	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R10	2019		2020	2021	2022	2023	2024	2028	指定管理受審時目標 (06年度以降は 中期経営計画 (改定後)目標)	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	年度目標	98.0	98.7	98.9	98.9	98.9	98.0	-	実績	98.7	98.3	95.8	96.2	98.0	100.0	-	年度	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R10	2019		2020	2021	2022	2023	2024	2028	回収率実績	71.0	77.2	71.5	26.6	19.9	16.8	-	<p>・ 2024年度第3四半期 満足度調査 再利用 100.0 % 平均 92.6 % (「平均」…「施設」「備品」「スタッフの対応」「再利用」にかかる満足度の平均)</p> <p>(参考) 2024年度(4月～12月)：配布583件、回答98件 2023年度(4月～11月)：配布548件、回答107件 2022年度：配布693件、回答185件</p> <p>・ 満足度調査の他に、「お客様の声」として、施設利用料100万円以上の催事主催者を対象に直接ヒアリングを行った。(目標取得率90%) 対象催事数233件、取得数188件(取得率84%)</p>	<p>A</p> <p>満足度調査の目標は達成しているが、回収率が年々下がっている(19.9%⇒16.8%)。昨年度の評価でも記載したが、引き続き回収率を上げる取組みを検討していただきたい。 今年度より直接ヒアリングを行う取組みを始められたとのことだが、取得した声をどのように活かしているのかについても今後報告をお願いしたい。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回収率を上げるためには、調査項目を変えるなど、現行のアンケート調査自体の見直しをする必要があるのではないかと。 ・ 直接ヒアリングにおいて取得した定性的なデータは、今後の管理運営業務に活用いただきたい。また、不満の声について、どのような意見があり、改善の対応をどのようにしたかは建設的。評価票への記載については、所管課と調整してほしい。
年度	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R10																																																													
2019		2020	2021	2022	2023	2024	2028																																																													
指定管理受審時目標 (06年度以降は 中期経営計画 (改定後)目標)	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0																																																													
年度目標	98.0	98.7	98.9	98.9	98.9	98.0	-																																																													
実績	98.7	98.3	95.8	96.2	98.0	100.0	-																																																													
年度	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R10																																																													
2019		2020	2021	2022	2023	2024	2028																																																													
回収率実績	71.0	77.2	71.5	26.6	19.9	16.8	-																																																													
<p>(2) その他創意工夫</p>	<p>○ 創意工夫を持って、提案内容以外の取組みが実施されたか</p> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p>	<p>・ 周辺地域の美化を進めるため、「美化強化デー」を引き続き実施した。</p> <p>・ お客様サービスの向上のため、試行を経て8月から、アバターによる受付を導入し、受付対応時間を2時間延長した。(午前9時～午後4時 → 午前9時から午後6時) (再掲)</p> <p>・ お客様の利便性向上を図るため、インターネット利用ができる個室ボックス(チャットボックス)2台を12月から5階に設置した。</p> <p>・ 当会議場の駐車場の活用について、従来からリーガロイヤルホテル大阪の利用者に利用いただいていたが、今年4月からは、中之島のにぎわいづくりの一環として、中之島バンクスに来場される皆様にも当会議場をご利用いただけるようにした。</p> <p>・ また、最近、大阪市内のホテルの宿泊費や会場費が上昇しており、催事主催者から宿泊場所・外部の会議室の紹介を依頼される事例が増えていることから、ホテルNCB及びNCB会館への送客について契約を締結した。(再掲)</p>	<p>A</p> <p>引き続き、環境の変化に応じた取組みを行い、公の施設として利用者の利便性向上に繋がる取組みを進められた。</p>	<p>A</p>																																																																

III

評価項目	評価基準（内容） ＜取組内容とその効果等＞	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価	評価委員会の指摘・提言																																																																																																																																																															
<p>III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目</p>	<p>(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度</p> <p>○ 収支計画に則して適切に運営されたか</p> <p>・ 指定管理提案時目標（R6年度以降は中期経営計画（改定後）目標）（百万円）</p> <table border="1" data-bbox="344 327 862 531"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31 2019</th> <th>R2 2020</th> <th>R3 2021</th> <th>R4 2022</th> <th>R5 2023</th> <th>R6 2024</th> <th>R10 2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上</td> <td>2,285</td> <td>2,409</td> <td>2,421</td> <td>2,432</td> <td>2,465</td> <td>2,081</td> <td>2,347</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>2,254</td> <td>2,373</td> <td>2,385</td> <td>2,397</td> <td>2,414</td> <td>2,208</td> <td>2,311</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>31</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>51</td> <td>▲127</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>受取利息等</td> <td>36</td> <td>32</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>67</td> <td>68</td> <td>62</td> <td>59</td> <td>75</td> <td>▲99</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 年度当初の目標（百万円）</p> <table border="1" data-bbox="344 587 862 791"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31 2019</th> <th>R2 2020</th> <th>R3 2021</th> <th>R4 2022</th> <th colspan="2">R5 4～11 通年</th> <th>R6 2024</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上</td> <td>2,285</td> <td>607</td> <td>1,571</td> <td>1,840</td> <td>1,455</td> <td>1,558</td> <td>2,081</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>2,254</td> <td>1,916</td> <td>1,885</td> <td>2,087</td> <td>1,444</td> <td>2,237</td> <td>2,208</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>31</td> <td>▲1,309</td> <td>▲314</td> <td>▲246</td> <td>11</td> <td>▲679</td> <td>▲137</td> </tr> <tr> <td>受取利息等</td> <td>36</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>67</td> <td>▲1,287</td> <td>▲293</td> <td>▲223</td> <td>30</td> <td>▲652</td> <td>▲99</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 実績（百万円）</p> <table border="1" data-bbox="344 847 862 1051"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H31 2019</th> <th>R2 2020</th> <th>R3 2021</th> <th>R4 2022</th> <th colspan="2">R5 4～11 通年</th> <th>R6 2024</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上</td> <td>2,163</td> <td>952</td> <td>2,603</td> <td>1,928</td> <td>1,402</td> <td>1,519</td> <td>1,706</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>2,127</td> <td>1,835</td> <td>2,312</td> <td>2,162</td> <td>1,521</td> <td>2,260</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>36</td> <td>▲883</td> <td>291</td> <td>▲233</td> <td>▲119</td> <td>▲741</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>受取利息等</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>18</td> <td>30</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>74</td> <td>▲852</td> <td>316</td> <td>▲198</td> <td>▲101</td> <td>▲712</td> <td>146</td> </tr> </tbody> </table> <p>過年度評価：R3年度【指定管理者：S 所管課：S】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：B 所管課：B】</p>	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R10 2028	売上	2,285	2,409	2,421	2,432	2,465	2,081	2,347	営業費用	2,254	2,373	2,385	2,397	2,414	2,208	2,311	営業利益	31	36	36	35	51	▲127	37	受取利息等	36	32	26	24	24	27	27	経常利益	67	68	62	59	75	▲99	64	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 4～11 通年		R6 2024	売上	2,285	607	1,571	1,840	1,455	1,558	2,081	営業費用	2,254	1,916	1,885	2,087	1,444	2,237	2,208	営業利益	31	▲1,309	▲314	▲246	11	▲679	▲137	受取利息等	36	22	20	22	19	27	27	経常利益	67	▲1,287	▲293	▲223	30	▲652	▲99	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 4～11 通年		R6 2024	売上	2,163	952	2,603	1,928	1,402	1,519	1,706	営業費用	2,127	1,835	2,312	2,162	1,521	2,260	1,600	営業利益	36	▲883	291	▲233	▲119	▲741	106	受取利息等	36	30	28	36	18	30	40	経常利益	74	▲852	316	▲198	▲101	▲712	146	<p>・ 2024年度第3四半期 収支実績</p> <table border="1" data-bbox="1043 279 1310 391"> <tbody> <tr> <td>売上</td> <td>1,706</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>1,600</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>106</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>受取利息等</td> <td>40</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>146</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ コストダウンの観点から、各種の保守委託契約について、見直すべき事項がないかを専門家の意見を聴きながら検討を進めた。</p> <p>エレベーター及びエスカレーターの保守委託費については、当社から類似施設の委託費の事例等を提示する一方、サービス内容の精査を行い、結果として、2025年度から約4%から9%のコストカットが実現できることになった。</p> <p>また、2025年度から2028年度までの設備管理業務、技術サービス業務及び清掃業務に係る委託契約を締結するため一般競争入札を行ったが、これまでの物価上昇を踏まえ、15%程度の価格上昇を想定していたが、落札価格は平均6.6%の上昇にとどまった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	売上	1,706	百万円	営業費用	1,600	〃	営業利益	106	〃	受取利息等	40	〃	経常利益	146	〃	<p>A</p> <p>WEBマーケティングの展開や休館期間中の営業強化、また市場環境の好転により、第3四半期時点において当初計画を上回っている状況。</p> <p>年度目標達成に向けて、継続して取組みを進めていかれたい。</p>	<p>S</p>
	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R10 2028																																																																																																																																																											
	売上	2,285	2,409	2,421	2,432	2,465	2,081	2,347																																																																																																																																																											
	営業費用	2,254	2,373	2,385	2,397	2,414	2,208	2,311																																																																																																																																																											
	営業利益	31	36	36	35	51	▲127	37																																																																																																																																																											
	受取利息等	36	32	26	24	24	27	27																																																																																																																																																											
	経常利益	67	68	62	59	75	▲99	64																																																																																																																																																											
	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 4～11 通年		R6 2024																																																																																																																																																											
	売上	2,285	607	1,571	1,840	1,455	1,558	2,081																																																																																																																																																											
	営業費用	2,254	1,916	1,885	2,087	1,444	2,237	2,208																																																																																																																																																											
営業利益	31	▲1,309	▲314	▲246	11	▲679	▲137																																																																																																																																																												
受取利息等	36	22	20	22	19	27	27																																																																																																																																																												
経常利益	67	▲1,287	▲293	▲223	30	▲652	▲99																																																																																																																																																												
年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 4～11 通年		R6 2024																																																																																																																																																												
売上	2,163	952	2,603	1,928	1,402	1,519	1,706																																																																																																																																																												
営業費用	2,127	1,835	2,312	2,162	1,521	2,260	1,600																																																																																																																																																												
営業利益	36	▲883	291	▲233	▲119	▲741	106																																																																																																																																																												
受取利息等	36	30	28	36	18	30	40																																																																																																																																																												
経常利益	74	▲852	316	▲198	▲101	▲712	146																																																																																																																																																												
売上	1,706	百万円																																																																																																																																																																	
営業費用	1,600	〃																																																																																																																																																																	
営業利益	106	〃																																																																																																																																																																	
受取利息等	40	〃																																																																																																																																																																	
経常利益	146	〃																																																																																																																																																																	

<p>2) 安定的な運営が可能となる人的能力</p>	<p>○ 総務、施設管理、営業等の各部門に必要な人員が適切に配置されたか 過年度評価：R3年度【指定管理者：B 所管課：B】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 職員の採用、確保が適切に実施されたか 過年度評価：R3年度【指定管理者：B 所管課：B】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 職員の指導育成、研修が適切に実施されたか 過年度評価：R3年度【指定管理者：B 所管課：B】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>○ 職員の勤務形態、勤務条件が適正に確保されたか 過年度評価：R3年度【指定管理者：A 所管課：A】 R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】</p> <p>【参考値】部門別従業員配置（R6年12月）</p> <table border="1" data-bbox="347 670 739 965"> <thead> <tr> <th></th> <th>部門</th> <th>配置数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">プロパー</td> <td>総務管理・経営企画</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>国際会議等誘致</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>予約・催事運営</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">全社</td> <td>総務管理・経営企画</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>国際会議等誘致</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>予約・催事運営</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p>(総務企画担当部長は総務管理・経営企画に含む。派遣、委託、パートを除く。)</p>		部門	配置数 (人)	プロパー	総務管理・経営企画	5	国際会議等誘致	7	予約・催事運営	9	合計	21	全社	総務管理・経営企画	10	国際会議等誘致	7	予約・催事運営	12	合計	29	<p>・社員の退職に応じて、速やかに必要な人員を採用するよう努め、1月に欠員補充として1名を採用した。</p> <p>・社員の能力向上については、催事が比較的少ない8月に社員研修を集中的に実施した。まず、外国人を含むお客様への接遇能力を強化するため、全社員を対象とした英語研修及びビジネスシミュレーション研修を実施した。また、最近問題となっているカスタマーハラスメントに対応できるよう「カスタマーハラスメント研修」を実施した。 このほか、関西生産性本部主催の女性リーダー交流フォーラムへの派遣研修、メンタル不調の予防のために精神科医による社員向け研修を実施した。</p> <p>・4月から、財務・経理事務のほか一般文書の決裁・保存についてクラウド会計ソフトfreeeの運用をはじめ、業務の効率化を図っている。(電子帳簿保存法にも対応)。</p> <p>・営業業務の電子化では、データに基づく営業活動を推進するため、kintoneを利用して営業推進(CRM)システムを整備し、5月から運用している。</p> <p>・社員の事務用パソコン(管理運営システム端末機)について、12月にデスクトップ型からノート型に切り替えた。これに伴い、処理速度等の機能が向上するとともにOSが最新版になるなどセキュリティが向上した。今後、パソコンの持ち運びを想定したセキュリティソフトの導入や運用基準の設定を行っていく。</p> <p>・2024年4月から短時間正社員の就業規則を施行し、賞与規則、チャレンジ提案表彰規程、業績貢献表彰規程を改正施行した。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>所管課と協議のもと、人員配置が行われている。</p> <p>職員育成やメンタルヘルスに関する研修が実施されており、業務の効率化にも取り組んでいると認められる。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>・職員研修を定期的開催するなど、職員の指導育成について、今後も継続して取り組んでいきたい。</p>
	部門	配置数 (人)																									
プロパー	総務管理・経営企画	5																									
	国際会議等誘致	7																									
	予約・催事運営	9																									
	合計	21																									
全社	総務管理・経営企画	10																									
	国際会議等誘致	7																									
	予約・催事運営	12																									
	合計	29																									
<p>3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤</p>	<p>○ 施設運営管理者として、適切な財務状況が確保されているか 過年度評価：R3年度【指定管理者：S 所管課：A】 R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：B 所管課：B】</p>	<p>別紙「収支実績」等のとおり。</p>	<p>A</p>	<p>様々な取組みにより経費削減に努められた。</p>	<p>A</p>																						